



北海道利尻島ベシ岬からの風景

学科の特長

地域活性化のリーダー

中核コーディネーターを目指そう!

グローバル化・情報化といった社会の変化に対応しつつ、各地域の特性を理解した上で地域住民や行政、企業などの関係者と協力して地域の課題を発見・解決し、地域の発展を促す人材を目指します。

地域活性化を生み出す学びの要素



教育・学びの環境をコーディネート



地域コミュニティをコーディネート



魅力的な地域をコーディネート

これからの地域社会には課題や変化に主体的に対応できる人材が欠かせません。本学科では、そうした「人材の育成」について学びます。教育・社会教育・生涯学習に関する専門知識とICT・AIなどデジタル技術を活用した教育ノウハウ、加えて主体性を育む自由で活発な学習活動の方法、一人ひとりの生涯にわたる学びを支援する環境の整備、さまざまな角度から地域の未来を担う「人づくり」を学びます。

地域医療・介護における人材不足といった課題への対応や防災力の向上、グローバル化に伴う多文化共生社会の実現といった地域課題には、多職種間や住民間の連携強化が重要です。地域の活性化にも大きな影響を及ぼす要素に対し、本学科では地域でのフィールドワークを通して、多様な人々と連携するコミュニケーション力や人々をまとめ、協働を促進するファシリテーション力を養います。

歴史や食文化など地域固有の価値や、その他の多様な資源の価値を理解した上で、グローバルな視点と柔軟な発想をもとに、新たな価値を創出する能力が求められています。本学科では、地域の特性を探りながら、急速な社会構造の変化が地域に与える影響などへの理解を深めるとともに、地域と連携した演習科目を通して、情報収集力や企画・調整力、発信力、実行力を磨きます。

人間科学部

地域未来学科

2024年4月
スタート!



教育 × 地域創生で
魅力あふれる北海道の
未来をつくる。

現代社会は、少子高齢化・過疎化と、それに伴う産業の衰退や働き手の減少、コミュニティ機能の低下など、深刻な課題を多く抱えています。その最前線にあるのが地域です。こうした課題を解決し、持続可能な社会を実現するには、まず地域を十分に知り、学び、その中核となれる人材の育成が欠かせません。本学科では、道内外の課題先進地域でのフィールドワークや他者との協働を通して、課題を発見・解決する力や新たな魅力を生み出す創造力を養い地域を活性化できる人材や、教育学の専門知識・技能を活かし地域リーダーとして地域の未来を担う人づくりに貢献できる人材を育成します。

— KEY WORD —



身につけられる能力

- 人口減少時代における地域特有の課題を「発見する力」「分析する力」「解決する力」
- 地域の歴史・文化・魅力を継承する教育学の「専門的知識・技能」
- 多様な他者との共存・共生を推進する「コミュニケーション力」「協働力」「調整力」

想定される卒業後の進路

- 地域の活性化をリードできる人材として幅広い進路が想定されます。
- 地方公務員 ● 特殊法人
 - NPO/NGO ● 各種財団/特定独立行政法人
 - 各種社会教育施設職員 (公民館/図書館、博物館等)
 - 民間企業 ● 学校法人教職員 など

地域未来学科の最大の特長
地域社会と連携した
実学教育

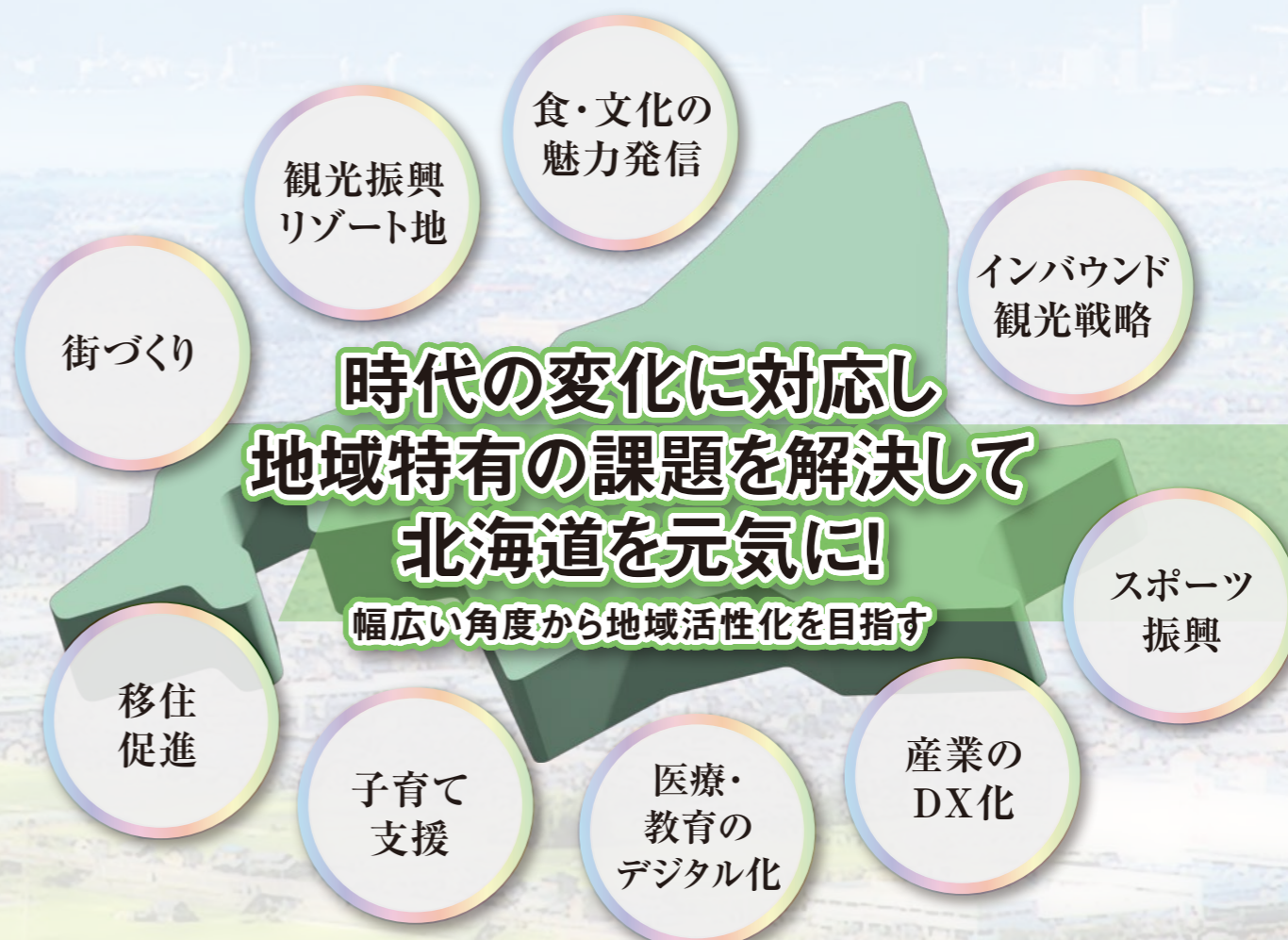
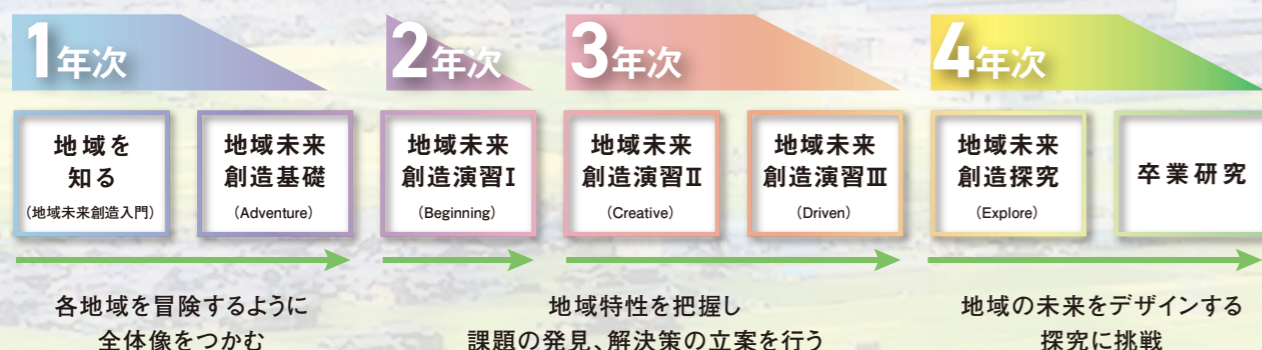
キャンパスを飛び出して 地域社会

を学びのフィールドに!

未来への可能性を拓くために 地域の人々と一緒に課題を発見・解決!

北海道文教大学が包括連携協定を結ぶ50団体以上の協定締結先を中心に、北海道内外の自治体や企業・NPOと連携。調査活動やインターンシップ、プロジェクト演習などを通して、地域社会における課題を発見する力、解決に向けた企画力や発信力、コミュニケーション能力といった実践力を身につけます。

入学から卒業まで継続して地域での演習を実施



海外留学やボランティアなど自主参加の活動も応援!

グローバル・フィールド・スタディーズI~IV

道内・国内・海外で行われるさまざまな研修や留学、異分野・異文化体験や職場体験のプログラム(インターンシップなど)、各種資格取得、ボランティア活動等、課外活動への参加など、地域課題を解決するための実践的な学びを目的とした諸活動への参加および成果等について、卒業に必要な修得単位として認定します。

実力と自信を養う少人数ゼミスタイル!

地域での実践活動を伴う「演習科目」は、6名~10名のグループに分かれ、担当教員が細やかな指導を行います。少人数制での役割分担やディスカッション、グループワークを通して主体性や協働性を養います。各グループのテーマや地域は興味・関心や進路に合わせて選択可能です。

連携先は50以上! 主な包括連携協定先

《自治体》

- 恵庭市 ● 登別市
- 北海道後志総合振興局
- 倶知安町 ● ニセコ町
- 留寿都村 ● 富良野市
- 南幌町 ● 平取町
- 木古内町

《民間企業》

- 株式会社北海道新聞社
- 株式会社北海道銀行
- 丸善雄松堂株式会社
- 株式会社久原本家グループ本社及び株式会社久原本家北海道
- ポッカサッポロ北海道株式会社
- サンドラホールディングス株式会社 等

《経済界・医療法人等》

- 一般社団法人 恵庭青年会議所
- 恵庭ロータリークラブ
- 恵庭商工会議所
- 地域創生実践総合研究所 及び 日本地域創生学会
- 恵庭ライオンズクラブ
- 社会医療法人 禎心会グループ 等

2023年
4月新設!

北海道文教大学 地域創造研究センター



小磯センター長(右から2番目)他 研究員

北海道文教大学がある恵庭市(行政)と連携する形で、地域の課題解決に向けた政策研究を行い、先駆的な地域政策を地方から提案することを目的に新設されました。事務局には学内教職員のみならず、恵庭市職員が出向するなど学内外のスタッフによって構成され、行政と大学がタッグを組んで共同研究プロジェクトを実施していきます。地域未来学科が目指す「持続可能な地域社会の実現」に向け、地域のつながりづくりを支援する存在となります。

地域未来学科 カリキュラムイメージ

Pick up

地域活性化に役立つ幅広い知識・技能を修得

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次
専門基礎科目	教育基礎	教育学概論I 教育学概論II 生涯学習概論I 生涯学習概論II 教育心理学I	アカデミックライティング 教育心理学II		
	地域理解	地域未来概論(地域の未来を語る) 世界と北海道 日本政治経済論	持続可能な地域社会と地域創生 自治体を知る 北海道の食文化 北海道の社会と文化(多文化共生)	地域パートナーシップを知る	
専門科目	生涯教育	教育から考える地域と未来I 教育から考える地域と未来II	社会教育論 教育から考えるサステナビリティ 人口減少時代の地域と大学 教育から考える社会貢献	生涯学習支援論 社会教育経営論	
	地域教育	コミュニティ教育論I コミュニティ教育論II	こども家庭支援論 こども家庭支援の心理学	教育行政学	
	地域創造		地域と文化 地域商業概論 人口減少時代の対話と合意形成	地域イノベーション論 地域創生の実践と経営 地域・防災まちづくり 地域とコミュニティ	地方自治論
専門関連科目	国際理解教育			国際社会が抱える課題と対応 国際地域開発論	
	まちづくり・地域政策	健康社会と福祉 まちづくり法規	公衆衛生学 都市計画学 社会福祉 景観デザイン論 統計と社会調査法		地域包括ケアシステムを考える
	実務実践		アントレプレナーシップ概論 公務員講座I 公務員講座II 日本語ビジネスライティング	ビジネス会計の基礎	
演習科目	地域未来基礎	地域を知る(地域未来創造入門) 地域未来創造基礎(Adventure)			
	地域未来演習		地域未来創造演習I(Beginning)	地域未来創造演習II(Creative) 地域未来創造演習III(Driven)	
	地域未来探究				地域未来創造探究(Explore)
	卒業研究				卒業研究
教養科目	人間と文化	総合教養講座 他			
	社会と制度	キャリア入門 他	キャリア形成		
	自然と科学	数理・データサイエンス・AI入門 他			
	外国語	英語I・II 韓国語I・II			
	スポーツと健康	生涯スポーツI・II			
総合領域	グローバル・フィールド・スタディーズI・II・III・IV (単位認定用科目)				

地域を定義し、掘り下げ、提案する。

地域未来創造 基礎～探究 1～4年次

地域未来学科の根幹を成す科目で1～4年次まで通して履修します。地域とは何かを知り、地域資源や地域課題を発見し、地域の未来を創造していきます。道内各地でフィールドワークを行い、地域特性を認識した上で適したマネジメントやマーケティングの方法を探ります。集大成としてゼミ方式で発表、議論、検証を行い、成果をまとめます。

他者とのかかわり方を考察する。

コミュニティ教育論 I・II 1年次

コミュニティの存在意義・意味と、現代社会における役割について教育学の観点から学びます。まずは自らが地域社会の一員であることを踏まえ、コミュニティを通じて他者に関わるための具体的な方法・素養を理解。その上で、我が国をはじめとする人口減少社会において重要な要素の一つとされる「社会関係資本」について掘り下げます。

支援者の存在意義の大きさを知る。

こども家庭支援の心理学 2年次

生涯発達に関する基礎的な知識を修得し、初期経験の重要性、発達課題等について学びます。さらに、家族・家庭の意義や機能を踏まえた上で、なぜ子育て家庭への支援が必要なのか、ひとり親家庭、貧困家庭、虐待リスクのある家庭等を事例に包括的な支援のあり方について考えます。地域における支援施策や関係機関との連携についても知見を広げます。

課題解決のプロセスを実例に学ぶ。

地域創生の実践と経営 3年次

まちづくりの担い手である会社組織と個人の関係を理解します。例えば、個人が組織の中で直面する社会化や組織文化、モチベーション、キャリア開発、リーダーシップ、対人葛藤といったジレンマと、そのダイナミズムなどを学びます。併せて組織における課題解決のフレームワークやマーケティングの手法も学び、その活用を目指します。

教育で豊かな未来を創造する。

教育から考える地域と未来 I・II 1年次

実社会における教育は「指導者(年上、上司、先輩など)／学習者(年下、部下、後輩など)」の枠組みにとらわれません。この授業では自分が地域の総合的プロデューサーとなることを想定し、効果的な情報発信、広報戦略、協力者の獲得やコーディネートの方法などを学び、教育という切り口から地域の未来をデザインする能力を養います。

地域リーダー・プロデューサーを育む。

持続可能な地域社会と地域創生 2年次

地域創生・SDGsの本質を理解します。具体的には、国や自治体の政策・予算策定プロセスを自治体職員等の実践者による講話や質疑応答、対話を通じ、知識を深めます。部分・個別最適から全体最適学・現場重視の視点、思考、出番創出・役割分担によるストーリーまで深く考察し、将来の地域創生リーダー・プロデューサー人材の養成を目指します。

共存・共生の時代をいかに生きるか。

人口減少時代の対話と合意形成 2年次

人口減少に伴う労働力不足によって、他者との協働がより求められる現況を踏まえ、自分と異なる考えを持つ他者との共存の在り方について考えます。共存・共生に必要な有効なコミュニケーションや合意形成、関係調整、交渉等を円滑に行う能力についてふれます。事例を学び、実践的なアプローチにも取り組みます。

大切な故郷を災害から守るために。

地域・防災まちづくり 3年次

自然災害に対する実社会・行政のあり方を学びます。自助・共助・公助のまちづくりの体系や手法、予防対策と応急対策、避難方法、災害や復旧・復興対策に関する法律のほか、阪神淡路大震災や東日本大震災の復旧や復興まちづくり計画の事例も学びます。

求める学生像

Admission policy

地域未来学科は、地域を発展させたいという目的意識があり、持続可能な未来社会の実現や地域社会の支援を意欲的に行う意思のある次のような人を受け入れます。

知識・技能

- 基本的な知識・技能を習得するための学習習慣をもっている人。

思考・判断・表現

- 社会で活躍するための基礎となる知識・技能を活用して課題を解決するために必要な論理的思考力・判断力・表現力をもっている人。

関心・意欲・態度

- 地域の発展や持続可能な社会の実現に強い関心を持ち、何事にも積極的にチャレンジする意欲のある人。
- 地域に関わる様々な領域の人々と協働して物事を推進したいと願う人、コミュニケーション能力を常に高めたいと考える人。
- 目標の実現に向かって努力を続ける学習意欲をもっている人。
- 人々の生活に幅広く目を向けバランス感覚に優れた人格でありたいと願う人。

育てる人材像

Diploma policy

地域未来学科は、履修規程によって必要単位を取得し、必要な修業年限を満たしたうえで、次の能力を身につけていると認められた学生に「学士(地域未来学)」の学位を授与します。

知識・技能

- 地域社会における教育の役割を理解し、教育学に関する専門的知識・技能を身につけ、生涯にわたり学び続ける素養を有している。
- 地域の歴史や文化、多様な資源の価値を深く理解し、新たな価値を創造することにより、持続可能な社会を実現し、次代へ発信・継承することができる。
- 地域社会の中核的コーディネーターとして、多様な主体とのつながりを生み出し、包摂的で持続可能な地域コミュニティを他者と共創できる。

思考・判断・表現

- 幅広い視点から地域課題を発見し、課題解決に向けて主体的に行動でき、かつ、地域において協働できる人的資源の開発や組織体制の構築に貢献できる。
- 地域社会のデジタル化等の変化に適応しながら、地域の特性を踏まえた教育の在り方について考究し、地域の未来を担う人づくりに貢献できる。

関心・意欲・態度

- 地域社会における意欲的かつ主体性のある個人や企業の学習活動を引き出し、支援することで、生涯学習社会の実現に貢献できる。